

## 「東北復興」論

### ・波乱の近代化期

- ・戦争 ... 日清(1894), 日露(1904), 第一次世界大戦(1914)
- ・不況 ... 金融恐慌(27), 世界恐慌(30)
- ・凶作(1902, 05, 13, 31, 34)
- ・地震 ... 濃尾(1891), 関東震災(1923)
- ・噴火 ... 桜島(1914), 浅間山(38)
- ・水害 ... 多数

⇒ 国力増強を憂えた政財界有力者により、「遅れた東北」の復興が模索される。

・1913「東北振興会」... 原敬が財界に呼びかけて設立(会頭沢沢栄一)。

- ・稲作依存からの脱却を構想。
- ・折からの凶作・災害の救済事業が優先されて、構想は具体化せず。

※逆に稲作技術者や篤農家が奮起。耐冷品種の開発や、冷夏回避のため早生種への転換が進む。

## ★東北人による東北復興論

半谷清寿 はんがいでいせいじゆ

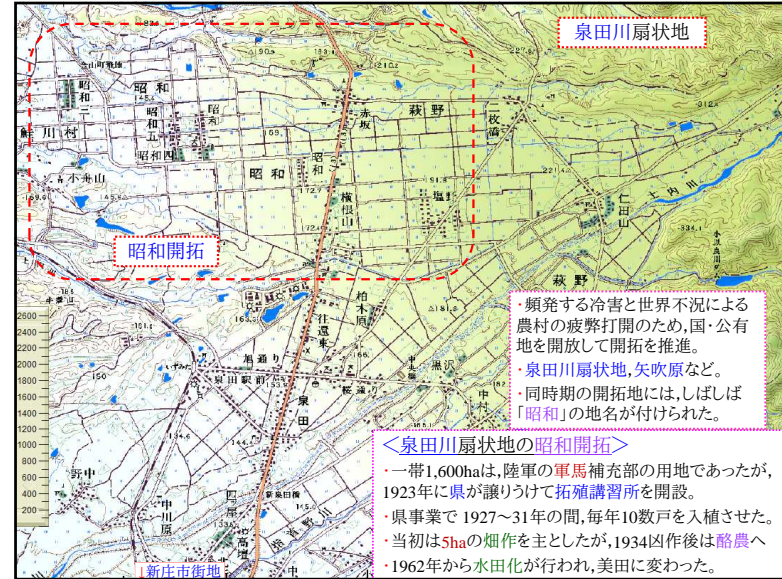


・1858, 相馬藩士の長男として小高に生まれる。地元の養蚕業振興、羽二重機業、銀行設立、開拓地経営など、相双地域の産業育成に尽力。衆議院議員3期。

・1906年、『将来之東北』を刊行。二宮仕法導入以来の稲作偏重の考え方を批判し、それに代わる振興策を100項目以上列挙。

・「東北復興」論の参考にされた。

※相馬藩の二宮仕法 ⇒ 広報そうまweb



## 1936「東北復興調査会」

- ・災害救済が一段落した1936年、政府は法律を制定して東北復興に着手。
- ・学会会議の支援をうけ、地場資源を柱とする「科学的」な開発計画を策定

・東北興業(株)... 地場資源を活用した直営・出資39工場を東北各地に設立。

※傘下工場の例 ... ゴム(長町), 特殊鋼(長町), 船渠鉄工(塩釜), パルプ(石巻), 合板(会津若松), 碍子(会津本郷), 絨毯(山辺), セメント(岩手)

・東北復興電力(株)... 阿武隈川, 玉川(秋田)などの川で水力発電事業に着手。TVAを手本に。

・戦時中、東北興業(株)は国力増強の一端を担う。

- ・戦後、「東北開発(株)」として再出発。
- ・最盛期には直営25, 出資100余工場。

・しかし国策による「東北復興」は、「地域資源の活用」という理念以外の経営戦略に乏しく、高度経済成長期の民間企業との競争に次々に敗退。

・主力のセメント(カイハツセメント)や合板でも品質が劣り、民間企業の発展や輸入増加の中で、産業としての成功は望めなかった。

・他方、いくつかは、事業を民間企業に継承して、今日に引き継がれている。  
... 東北特殊鋼, 振興パルプ(日本製紙)etc.

・1986年、東北開発(株)は民営移行

・1991年、三菱マテリアルに吸収合併。

・その際、東北復興の事績を記念して、シンクタンク「東北開発研究センター」設立。

・2010年「東北活性化研究センター」に。

### ＜耕地割＞

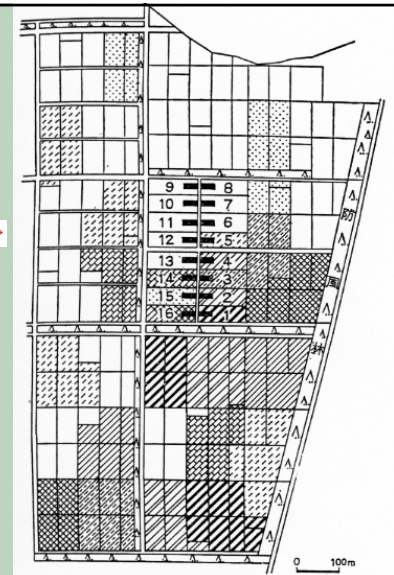
- ・1戸あたり宅地10a, 畑5ha, 付帯地3ha.
- ・畑地は宅地周囲に50a, 他は2カ所に分けて配分
- ・1筆の畑は30間×50間=50a
- ・これをタテに2筆つなげて馬耕

「昭和一」集落の耕地図→

### ＜農業経営の変化＞

- ・当初は大豆, 馬鈴薯, 小豆等の畑作
- ・1934冷害以降は, 畜産(養鶏, 乳牛)
- ・第二次大戦後, 最上総合開発の中で, 枳沢ダムがつくられ, 水田に。
- ・水田総面積427ha, 開拓農家77戸の平均6ha余 ... 八郎潟干拓地完成以前の本州で最大面積に

二宮書店『日本地誌』4(1971), 新庄。  
渡辺茂蔵(1957), 山形大学紀要人文科学, 4-1



### 鳴瀬川下流部の土木遺産

#### 品井沼干拓

- ・鳴瀬川は、鹿島台付近から海拔3~4mの氾濫原を形成。
- ・その最低位、海拔2mに品井沼
- ・ここに吉田川や鶴田川が流れ込み、「志田谷地」を形成。
- ・その干拓事業は江戸中期から。

・苦難の歴史を経て、1940年、完工  
 ・松島丘陵の下に排水路「潜り穴」  
 ・鶴田川を「サイフォン」化  
 ・吉田・鳴瀬川の分流堤

### 鶴田川改修事業

現地案内板

#### 竹谷集落

- ・一帯の新田開発の拠点集落
- ・木間塚村の村長を輩出。
- ・南北800mほどの集落で、道路の中央に水路が通る。
- ・水路をまたいで望楼が建つ。

### 排水事業と わらじ村長

- ・干拓の成否は排水。しかし河床の高い鳴瀬川への排水は困難
- ・鳴瀬川増水時の逆流防止 ... 築堤、水門
- ・松島湾まで地下水路(六川、潜り穴)
- ・これらは元禄時代に行われたが、排水効果は不十分。

- ・明治になり、県から政府に要望も不採択。
- ⇒地元(竹谷)で独自の計画(左図の未記部分)を立案し、明治39年着工。
- ・難工事の末、43年に完成。
- ・この干拓事業に幕末から尽力したのが竹谷の鎌田家。
- ・計画紛糾の中の明治42年、鎌田家当主・三之助は、懇願されてブラジル移民事業から呼び戻されて村長に。
- ・以来10期38年、わらじ履き+無給で通す。

わらじ村長・鎌田三之助

- ・戦後、上流にダムが完成し、洪水の危険は減少 ... 漆沢(鳴瀬川), 宮床, 南川(吉田川)

[http://sky.geocities.jp/sendai\\_nordicwalkers/meijikantaku11.html](http://sky.geocities.jp/sendai_nordicwalkers/meijikantaku11.html)

明治潜り穴

明治潜り穴水門

明治潜り穴六川

東宮殿下一分間停車場

東宮殿下一分間停車場記念の碑

[http://sky.geocities.jp/sendai\\_nordicwalkers/meijikantaku11.html](http://sky.geocities.jp/sendai_nordicwalkers/meijikantaku11.html)